

特集
1・連続立体交差事業推進中
～西武新宿線(東村山駅付近)連続立体交差事業 下り線を高架化!～特集
2

・向島百花園「梅まつり～梅花彩る江戸花やしき～」を開催

特別
特集

・小石川後楽園「梅香る庭園へ」



No.201(1・2月号)は、令和7年11月30日時点の情報に基づき作成しています。

連続立体交差事業 推進中

連続立体交差事業とは???

道路整備の一環として、鉄道を一定区間高架化又は地下化し、多数の踏切の除却と交差する道路との立体化を一挙に実現する都市計画事業です。

都内には、約1,040箇所の踏切が存在
そのうち約290箇所が「開かずの踏切」
ピーク時の遮断時間が40分以上!
全国の半数以上が都内に存在!



解消!

渋滞解消で人とモノの流れがスムーズに

地域分断解消により賑わいのあるまちに

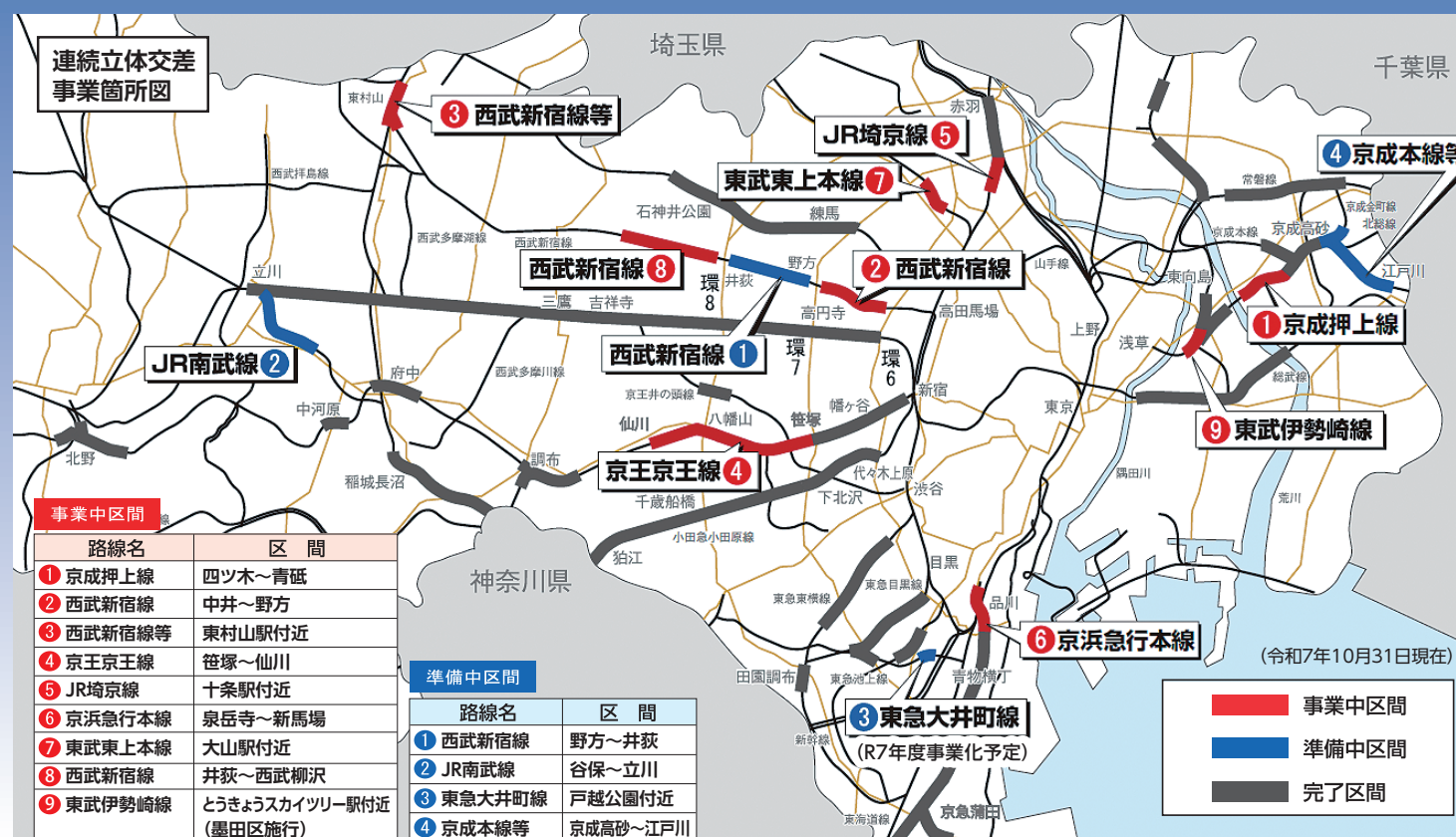
ストック
効果

事業を契機に
再開発等が進展



踏切による
交通渋滞が解消

高架下に公共施設や保育所、
商業施設などを整備し、
便利なまちに



～西武新宿線(東村山駅付近)連続立体交差事業 下り線を高架化!～

西武鉄道新宿線、国分寺線及び西武園線(東村山駅付近)連続立体交差事業

事業概要

本事業は、東村山駅付近の約4.5kmの区間において、道路と鉄道を連続的に立体交差化することにより、府中街道など5箇所の踏切を除却し、併せて側道を整備するものです。

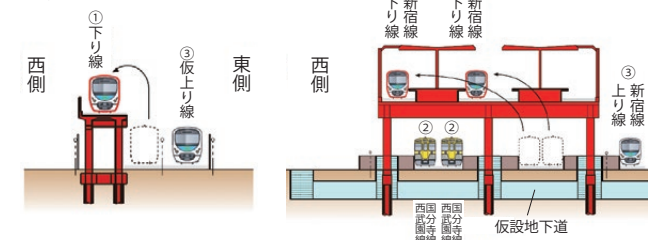


進捗状況

本事業では、①新宿線下り線、②国分寺線・西武園線、③新宿線下り線の順番に高架化を行います。

今年度は、6月に、①の新宿線下り線を高架化しました。これにより、四箇所の踏切で遮断時間が平均約3割減少するなど効果が得られています。

引き続き、残る②・③の高架化に向け、高架橋の構築、駅施設の工事などを進めていきます。



駅間部(新宿線)

東村山駅部

切り換え当日の様子



問合せ先

道路建設部 鉄道関連事業課
TEL: 03-5320-5331



東京都建設局
連続立体交差事業ポータルサイト
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/road/kensetsu/renritsu/portal>



モウコノウマってどんなウマ?

多摩動物公園 南園飼育展示第1係 塩谷真未

今年は午(うま)年、ということで、多摩動物公園で飼育しているモウコノウマについてご紹介します。モウコノウマはかつてモンゴルからヨーロッパに生息していた野生馬です。1960年代後半に乱獲などにより野生では絶滅しました。その後、飼育されていた個体を繁殖させて徐々に数を増やし、現在では野生にもどす再導入が進められています。なかでも、モンゴルのゴビ砂漠やホスタイン国立公園では特に再導入が進んでおり、多摩動物公園も保護活動援助をしています。モウコノウマは現存する唯一の野生馬、とされています。野生馬とは何か?と思われた方もいるかもしれません。たとえば、競馬や乗馬に用いられるサラブレッドや、北海道の開拓や農業に用いられた北海道和種など、人の生活に合わせ品種改良や、人に飼いならされた種類を家畜馬といいます。それに対し、家畜化されていないウマを野生馬といいます。

多摩動物公園の「アジアの平原」エリアでは、ウマ本来の群れで生活している様子を見ることができます。ウマの群れには、オス1頭と複数のメスからなるハレム群と、若いオスで構成される群れがあります。多摩動物公園ではハレム群形式で展示しています。群れにはリーダーがいて、他のウマもそれぞれ順位が決まっています。じっくり観察すると、ウマ同士の関係性が見えてきます。

せつかくの午年です。1年の始まりに、是非ウマを見に来てください。

動物園の“かお”

上野動物園
ルリカケス

鹿児島県のいくつかの島だけに生息する日本の固有種で、国の天然記念物。
卵は水色で、1つの巣につき3-6個産卵します。
上野動物園で保全に取り組んでおり、繁殖にも成功しています。